

# 滋賀県が設定した目標及び達成度を測る指標

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
25.滋賀県	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	教職員の時間外勤務が深刻な状況となっている。時間外勤務の縮減や働きやすい職場づくりによって「学校における働き方改革」を進めることが課題となっている。	県が直接実施する「研修会」や「CSアドバイザー派遣」を通して、「地域と学校が連携・協働することのよさ」を伝えていく。地域と学校の連携・協働によって、現在教職員が担っている業務を地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター、ボランティア等と分担したり、協力して行う。	地域と学校の連携・協働によって教職員の業務負担が軽減され、「学校における働き方改革」につながる。	・(昨年度よりも)「地域と学校の連携・協働」によって、『学校における働き方改革』につながった。」と回答する学校のパーセンテージ		%	50	70.3	4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が直接実施する「研修会」や「CSアドバイザー派遣」を通して、「地域と学校が連携・協働することのよさ」を伝えた。</li> <li>・各市町も地域住民や教職員向けに研修会を実施しており、地域と学校の連携・協働によって、現在教職員が担っている業務を地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター、ボランティア等と分担し、協力して行うなど、大きな成果があった。</li> <li>・負担が増えた、教育課程に組み込めていない、働き方改革につながるにはほど遠い、などの課題がある。</li> <li>・取組の質的向上をめざして、「みつめなおして、よりよく」を合言葉に、研修会の開催、市町立学校へのCSアドバイザー派遣を検討する。</li> </ul>
25.滋賀県	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	社会に開かれた教育課程についての教職員の理解が進んでいない。地域と学校の連携・協働によって、子どもたちの主体的な学びや学びの深まりを保障することが課題となっている。	県が直接実施する「研修会」や「CSアドバイザー派遣」を通して、社会に開かれた教育課程の理念や地域と学校が連携・協働することのよさについて伝え、教職員の理解を深める。	地域と学校の連携・協働によって社会に開かれた教育課程が実現し、そのことで、子どもたちが主体的に学んだり、学びを深めたりすることができる。	・(昨年度よりも)「地域と学校の連携・協働」によって、子どもの主体的な学びにつながったり、子どもの学びが深まったりした。」と回答する学校のパーセンテージ		%	70	85.7	4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が直接実施する「研修会」や「CSアドバイザー派遣」を通して、社会に開かれた教育課程の理念や地域と学校が連携・協働することのよさについて伝えた。</li> <li>・各市町の地域住民や教職員向け研修会の実施により、教職員の理解が深まると同時に、子どもの主体的な学びにつながったと思われる。</li> <li>・義務感がある、教職員の理解が進んでいない、子どもがお客さんになっている、などの課題がある。</li> <li>・取組の質的向上をめざして、「みつめなおして、よりよく」を合言葉に、研修会の開催、市町立学校へのCSアドバイザー派遣を検討する。</li> </ul>